

常任委員会・決算特別委員会分科会

※各常任委員会および各分科会に付託された議案審査並びに決算審査の主な内容を紹介します。

総 務

◆議案審査

財産取得の件（高規格救急自動車・清水救急2）

県営あづま球場で行われる東京2020オリンピックのソフトボール、野球競技の3日間の開催期間において、救急車3台を常時配備する必要があることから、福島消防署清水分署の救急車を1年前倒しして更新する。

それにより旧車両を救護用車両として配備することが可能となるものである。

◆決算審査

東京2020オリンピック・パラリンピック開催関連事業費

野球・ソフトボール競技の開催に向けた準備や女子ソフトボール日本代表、U-25女子車いすバスケットボール日本代表などの合宿誘致、2020ふくしま市民応援団の創設など本市のスポーツ振興および共生社会の実現などのために実施した。



2020ふくしま市民応援団による福島駅周辺美化活動

文 教 福 祉

◆議案審査

幼児教育・保育無償化関連事業費

10月から開始の幼児教育・保育の無償化制度の実施にともない施設等利用者の負担額相当を国、県および市が一定の負担割合による財源措置を行い、適切な事業実施に向けた人員確保などを行う。

◆決算審査

待機児童解消促進事業費

福島市待機児童対策緊急パッケージに基づき、保育の受け皿の拡大と保育士の確保を柱とした対策を進めてきた結果、市立認定こども園を3園開設したほか、保育施設を7カ所整備し、312名の保育定員の拡大を図った。

認可保育施設へ就労する保育士への就労支援、保育士の相談窓口の開設、就職・就労に関するイベントの広報などにより保育士の確保を行った。



経 済 民 生

◆議案審査

古閑裕而を活かしたまちづくり事業費

古閑裕而氏と福島市の魅力を広く市内外へ発信するため、古閑裕而記念館の企画展示をリニューアルするとともに、その妻金子氏の故郷である愛知県豊橋市との都市間交流事業を展開する。

また、連続テレビ小説の放映開始に合わせ、NHKの番組情報誌に広告を掲載する。



◆決算審査

福島体育館再整備事業費

福島市体育館・武道場の再整備として、平成28年度から3カ年継続事業の工事を実施した。

ネーミングライツ導入により愛称をNCVふくしまアリーナとして、昨年10月21日に再オープンし、平成30年度は38,690名の利用があった。



NCVふくしまアリーナ

建 設 水 道

◆議案審査

未就学児緊急安全対策事業費

未就学児が日常的に集団で移動する経路などの安全点検を国・県・警察・施設管理者および本市が合同で実施した結果に基づき、緊急に安全対策が必要な交差点への防護柵や車止めの設置、路側帯のカラー化やイメージ狭窄の設置など施設整備を行う。



合同安全点検の様子

◆決算審査

街路灯LED化推進事業費

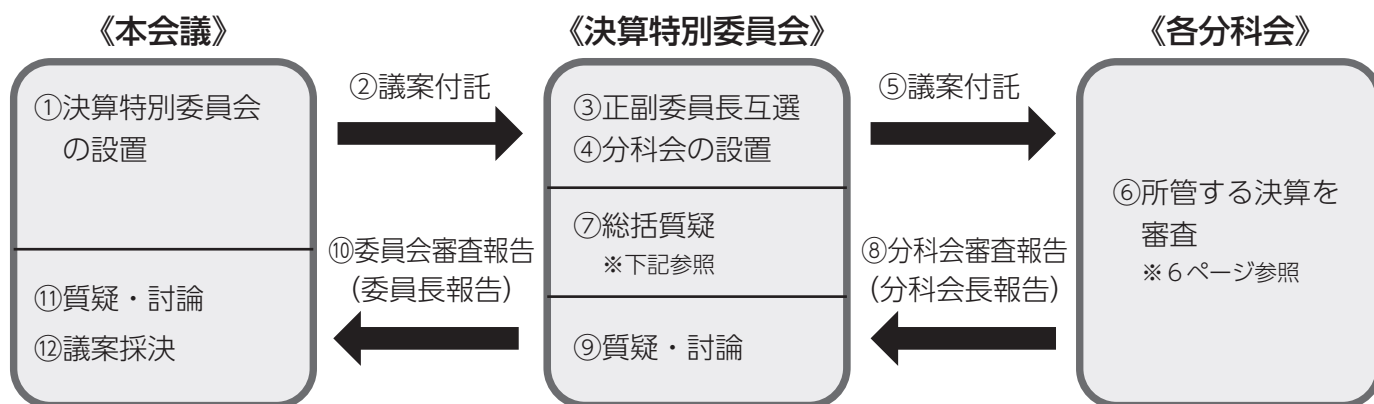
原子力に依存しない社会づくりや地球環境保全のため、既設街路灯の一部をLED灯に交換し、省エネルギー化と省資源化を推進した。

平成25年度より毎年度1,000灯ずつ既設街路灯のLED化を進めてきた結果、平成31年3月31日現在で既設街路灯18,873灯中8,103灯のLED化が完了（LED化率42.9%）した。

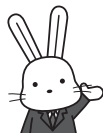
平成30年度の決算を審査 ～決算特別委員会～

議長および監査委員2名を除く32名の議員で構成する決算特別委員会を設置し、4つの常任委員会（総務、文教福祉、経済民生、建設水道）を単位とする各分科会において、平成30年度の決算を審査しました。

決算審査の流れ



総括質疑の主な内容



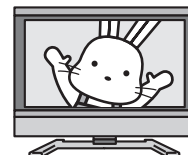
決算特別委員会の全体会では、次の3人の委員が質疑を行いました。

さいとう まさおみ
齋藤 正臣委員

Q ふくしまプロモーション事業で、最優秀作品以外の作品はどのように取り扱っているのか？

A 全作品を福島駅前のミュージル・ヴィジョン(注3)で1カ月間放映し、市民や本市に訪れた方々に見ていただいた。また、市外での本市PR活動、ホームページ、SNSやYouTube、市役所1階のデジタルサイネージ(電子看板)、会議の前に放映するなど、本市の魅力発信として活用している。

(注3) 旧中合2番館壁面(= MURAL)に投影しているヴィジョン



おおひら ひろと
大平 洋人委員

Q 子育て世帯応援に係る手当について、その目的に対しての成果を含め政策の評価は？

A 子育て世帯の経済的負担の軽減と子どもを産み育てやすい環境の整備を図ることを目的として支給しているが、使途については把握できていないことから、目的に見合った効果の検証は困難である。

今後は、新たな福島市子ども子育て支援事業計画策定作業の中で、手当のあり方も含めて総合的に検討していく。



いしやま なみえ
石山 波恵委員

Q 防火パトロール特別対策費中、防火パトロール特別対策助成金で、不用額が発生した理由は？

A 放火または放火の疑いによる火災が短期的に連続的に多発した場合に、市内全域または対策強化地域で不審火防止特別対策として消防団が実施する防火パトロールに対し、また、年間を通し、これと同等と認められる活動があった方面隊に対し助成しており、平成30年度は不審火防止特別対策を実施する事態がなかったため。

